

東京都中央卸売市場における本県青果物の販売状況（令和 7 年 2 月実績）

<野菜類>

品目	茨城県産						【参考】市場計	
	入荷量 t	前年比 %	平年比 %	価格 円/kg	前年比 %	平年比 %	入荷量 t	単価 円/kg
れんこん	701	78.6	92.1	439	120.8	103.1	742	442
レタス	1,132	84.1	123.2	287	169.9	156.4	4,210	269
はくさい	6,347	70.3	67.8	167	288.4	350.1	8,552	176
ピーマン	337	81.0	111.1	872	138.0	121.6	1,421	849

※出典：①東京都中央卸売市場月報から ②平年比は都中央実績の直近 5 年間の同月平均値から算出（果実類も同じ）

- ・ れんこんは、栽培面積の減少や夏季の高温の影響を受け、潤沢な入荷となった前年を 2 割以上下回り、平年を 1 割弱下回る入荷となった。例年、年明け以降も節句などの季節行事の需要があり、価格は安かった前年を 2 割程度上回り、平年並みの結果となった。
- ・ レタスは、低温・乾燥から生育遅延が散見され、潤沢な入荷となった前年を 2 割程度下回ったものの、平年を 2 割以上上回った。加工用を中心に引き合いが強く、価格は前年及び平年を大きく上回る結果となった。
- ・ はくさいは、干ばつの影響で小玉傾向となり前年及び平年を 3 割程度下回る入荷となった。各産地からの入荷が伸びず不足感のある販売状況のなか、冷え込みが続くことから引き合いが強まり、価格は堅調に推移し前年の約 2.9 倍、平年の 3.5 倍となった。
- ・ ピーマンは、樹勢がやや弱かったものの 1 月以降の天候に恵まれ回復し、入荷量は多かった前年を 2 割弱下回るも平年を 1 割以上上回った。価格については野菜全般の不足感から堅調に推移し、前年を 4 割弱上回り、平年を 2 割程度上回った。

<果実類>

品目	茨城県産						【参考】市場計	
	入荷量 t	前年比 %	平年比 %	価格 円/kg	前年比 %	平年比 %	入荷量 t	単価 円/kg
いちご類	498	96.4	93.8	1,519	103.0	110.6	4,592	1,669

- ・ いちご類は、栃木・福岡・茨城を中心に入荷。頂果房の出荷は終了し、腋果房の出荷に移行。腋果房については、品種や定植時期により、収穫開始にバラつきがあり、低温の影響で果実の成熟や葉の展開に時間を要した。そのため、入荷量は前年及び平年より少なく、価格は前年及び平年よりも高値となった。

<花き>

品目	全国平均価格			数量の前年同時期との比較 %
	直近 1 週間の 平均価格※ 円/本	前年比※ %	平年比※ %	
フリージア	58	92	104	80

※平均価格（単価）は FAJ（大田市場）市況数値から算出。前年比は当該市況の前年同時期の数値から算出、また、平年比は直近 3 年間の数値から算出。

- ・ フリージアは、茨城・山形・石川を中心に入荷。年末から 1 月にかけて数量少なく、高値で推移したが短い規格を中心に入荷量が増加し、3 月にかけて安定していく見込み。入荷量も増え、価格も落ち着く予想。